



華族籍之内

一頭書叙爵正來任官

叙位<sup>格</sup>任等可書<sup>載</sup>

昔之有職事經歷

之事叙位格任等叙

交有之假令掛紙仕

若叙書載殊年々

四月改定位之後洋通

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙

叙位<sup>格</sup>任等叙





何之故或心痛然有  
古著之迹相侷古之  
由始得取在

一得下有力之俗下下

故著之迹必是元氣

之著下其乃各人未口

之著下其乃各人未口

也何有力之俗下下

下下下下下下下下

下下下下下下下下

由得有力之俗下下

一得下有力之俗下下

古之木得書載針女

何著之迹相侷古之

報解之迹相侷古之

且婦人之迹相侷古之

古之木得書載針女

載解之迹相侷古之

圖取在

家語



載即此也。若くは、若くは、

図象左

<sup>家難し角</sup>婦人、縁可、若くは、縁可、

一、若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

一、若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、

若くは、若くは、若くは、



海内儀 卷末之物 祿云々  
何日注わ成 伺言 且支云々  
以下本籍有し云々のあり  
之類云々云々 後云々  
如何云々 何云々 元来云々  
籍云々 下注云々 何更  
無云々 下注云々 云々  
下注云々 何云々 心  
何云々 何云々 何云々  
教云々 何云々

古等件之 愚昧云々 氷解  
仕業大之 當感仕云々 何  
多病云々 何云々 何云々  
何云々 何云々 何云々  
坐

辛未  
二月  
經之

一高云々 何云々 何云々  
何云々 何云々 何云々  
何云々 何云々 何云々